チーム順位表＜第 10 節終了時点＞

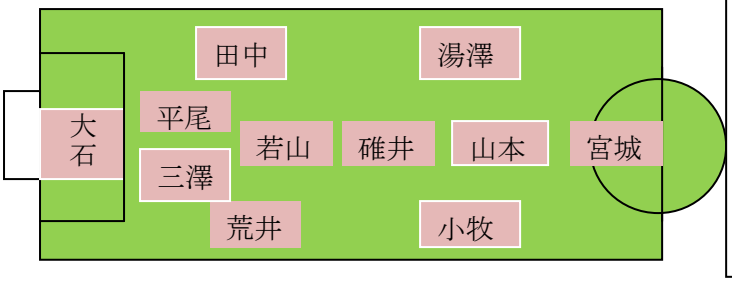
	チーム名	勝点	試合	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差
1	東洋大学	25	10	8	1	1	23	8	15
2	駒澤大学	20	10	6	2	2	22	12	10
3	桐蔭横浜大学	19	10	6	1	3	20	9	11
4	法政大学	17	10	5	2	3	27	16	11
5	関東学院大学	14	10	4	2	4	12	15	-3
6	東海大学	13	10	4	1	5	18	13	5
7	青山学院大学	13	10	4	1	5	16	21	-5
8	亜細亜大学	11	10	2	5	3	10	16	-6
9	拓殖大学	10	10	2	4	4	16	20	-4
10	朝鮮大学	10	10	3	1	6	16	26	-10
11	平成国際大学	10	10	3	1	6	8	20	-12
12	日本大学	7	10	2	1	7	11	23	-12

＜得点ランキング＞

1 位　李　應鉉（朝鮮大）　８得点
2 位　松本大輝（法政大）　７得点
3 位　青木翔大（桐蔭横浜大）６得点
　　峯　勇斗（東海大）

＜アシストランキング＞

1 位　☆田中雄一（駒澤大）　4
　　引間俊也（桐蔭横浜大）
　　年森勝哉（東洋大）
　　濱中祐輔（法政大）
　　深町浩之（日本大）
6 位　金　弘淵（朝鮮大）
　　三浦雄介（日本大）
　　米田賢生（法政大）
　　武富尚紀（青山学院大）
　　深町健太（法政大）



前期最終節：予想布陣

今節の試合は、今季これまでの集大成とも言える一戦となる。公式戦では早くも 16 試合目。様々な布陣で強敵に挑んできたが、攻守のバランスを考えると差図のイレブンが先発出場することが予想される。

Manager Comment

一生懸命やってたんでしょうがない。最後まで諦めないでやってそれまでだと思う。前の選手から両サイドまではきちんと声掛けをやってしっかり限定してプレスできればもうちょっといけた。疲れも相当あったと思うが情けない。徹底して外から速いボールが入れられなかったのが敗因。前にという約束でやっている。それができなかった。試合に出れない仲間の事を考えれば、何が大事かが分かると思う。仲間のためとかに戦う気持ちが弱かった。あと一試合チャンスをとって今、差を広げられないようにすればまだ後期はチャンスある。もう一回我々がやらなければいけない事を徹底してやっていけばまだチャンスがあると思う。もうちょっと暑くても運動量、動き出し、プレッシングが出来るようになればいいんじゃないかと思う。

（大臣杯の初戦の相手も良いチームだが）強いみたいですね。うちはその方がありがたい。せっかくいくんだから、上手いチーム回せるチームとやりたい

第⑪節 青学大戦プレビュー

東洋大戦では、２点を先行される苦しい展開ながらも碓井の２ＰＫで追いついた。しかし、「追い付いて引き分けで終われればよかった。最悪な形になってしまった」と碓井が話したように、ロスタイムの失点で敗戦。大事な試合を落とした。それでも気持ちを落としてはいられない。相手は７位と低迷している青学大だが、アミノバイタルカップでは６位と、全国への切符を手にしており、チーム力自体に差があるとは言えない。同大会での対戦においては５-０と快勝したが、それは青学大がメンバーを落としていたという理由から。ベストメンバー同士となるであろう今回の対戦は、ともに昨年降格を経験したチームとして、意地と意地のぶつかり合いとなるだろう。

紙面編集：佐藤　亮